

【別紙様式】

## 平成28年度 津山市立（ 誠道 ）小・中学校

### 改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（年度末）

津山市 達成目標	<p>これまでの取組やたしかめテスト等から</p> <p>【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み</p>	<p>算数A B . . . A：正答率が高い。B：正答率はほぼ同じ。問題文の内容を読み取り、見通しを立てて解決したり問いに合う記述を書くことが課題</p> <p>国語A B . . . A：正答率が高い。B：正答率がやや低い。問題文の意図や資料の読み取りが複雑になると正答率が下がる。</p>	
	<b>学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）</b>	<b>進捗状況</b>	<b>来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）</b>
市全 体の 取組	本校で作成している問題プリントに加え、「問題データベース」を活用し、課題のあった類似問題を取り上げ、朝学習や放課後の10分学習で取り組む。	A	朝学習・誠道っ子タイム・帰りの10分学習等で「問題データベース」を活用することができた。 来年度も、朝学習等で「問題データベース」を活用する。
①	自力解決のための時間を確保し、自分の考えを説明したり、まとめたりするなどの書く活動を取り入れる。また、特に高学年では、新聞や新しい文章にふれる機会を授業で増やし、要旨をまとめる活動を取り入れる。	A	自分の言葉で説明やまとめを書く活動を確保した結果、書くことに対する抵抗が減り、記述式の問題でかける児童が増えた。 全校で86%の児童が校内読書マスター(各学年のおすすめ本20冊を読みきる)になるなど、進んで読書に取り組む様子が見られた。来年度も、80%以上をめざす。
②	授業中の発表の際、自分の言葉で説明させたり、話し合いの時間を意図的に作ったりする。(集会活動や学活の活用)	B	児童は、発表する際には、自分の言葉で説明できるようになってきている。また、考えを交流しあう場面を確保したことで、相手の話を聞いて、質問したり意見を述べたりしながら考えを深めることができる児童が増えてきている。
③	家庭のルール（ノーメディアの取り組み等）を決め、勉強時間が確保できるようPTAと連携して取り組む。また、中学年以上で、自主学習ノートをもち、発展的な内容や予習・復習にも取り組む。	A	自主学習・読書・音読などの家庭学習の内容を工夫したことで、各学年の目標とする家庭学習時間をほとんどの児童が達成している。 自主学習ノートについては、高学年で100%、中学年で70%の児童が取りくんだ。来年度は、内容がより発展的なものになるよう取り組んでいく。

※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」  
「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」